

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

**外部評価の結果**

<b>事業所名</b>	グループホーム <b>げんき</b>
日付	平成16年12月6日
<b>評価機関名</b>	有限会社 アウルメディカルサービス
評価調査員	薬剤師・介護支援専門員  痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援
<a href="#">自主評価結果を見る</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る</a>	
<a href="#">事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</a>	

<p><b>講評</b> 全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>ふれあいを大切に考えている。落ち着くまでの間、入居者のやりたい事をしてもらおう。職員は常に、そばにいて不安感を取り除いている。</p> <p>居間は、みんなで一緒に居たくなるような雰囲気である。自然と集い、ゆったりと楽しい時間を過ごす。職員は見守りをしっかり行い、声かけに気をつけている。</p> <p>職員間のコミュニケーションが素晴らしい。入居者が落ち着いて生活できるよう、よく話し合われている。意見はホーム長、経営者にも確実に伝わっている。</p> <p>グループホームの近くには千屋温泉がある。2ヶ月に1度訪れている。車イスの入居者も入浴できる設備があり、身体機能の維持にもなっている。また、入居者、職員ともにリラックスできる場ともなっている。</p> <p>地域の小学校と餅つきをしたり、裏庭でお弁当を広げたり、焼き芋を作ったりといろいろな行事も計画され、楽しみながら生活を共にしている。</p> <p>寝たきりからの回復は無理と医師の宣告。入居者の居室に寝泊りして世話をした。入居者が立ち上げられるまで回復したとき、職員みんなの喜びは代え難いものがあった。</p> <p>一人にはさせない。寝たきりには決してさせない。との強い思いで、楽しく家庭的な暮らしを提供する。</p>
<p>改善の余地があると思われる点</p> <p>特になし</p>

**I 運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<p>記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>自由で、楽しく、穏やかな生活が出来るよう、「やすらぎと安心げんきな笑顔」をモットーにし、寝たきりの状態にさせないことを目指す。</p> <p>玄関はいつでもカギをかけていない。出入りが自由に出来ることが入居者にとって落ち着いた生活の出来る要因にもなっている。</p> <p>ふれあいを大切にし、閉じこもりにならないよう、入居者みんなが楽しみ、居間に出て来やすい環境作りに努めている。</p>			

**II 生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<p>記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>玄関はいつでもカギをかけず出入り自由である。落ち着くまでは、やりたい事をしてもらっている</p> <p>不安があれば、夜は職員がずっと入居者の部屋にいてくれる。</p> <p>入居者が落ち着かないときは外に連れ出し、気分転換を図るようにしている。</p>			

**III ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

**III ケアサービス(つづき)**

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<p>記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>料理の手伝い、洗濯物の片付けなど出来る事は入居者にしてもらっている。普段は気さくな話し方で接するが、入居者個人個人の性格、過去の職業などを理解し、丁寧な言葉使いをしたり、さりげなく隣に寄り添うなどの配慮がある。</p>			

**IV 運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<p>記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>居室内で転倒による骨折があったが、病院での入院治療が終わった後は、家族の希望もありホームでの生活となった。寝たきりにならないよう職員は、夜は毎日入居者の部屋に寝泊りしながら生活を共にし、日中は他の入居者と出来るだけ一緒に過ごせるよう居間に誘導。</p> <p>本人も、やる気が出て回復している。</p>			